

第40回市民ふれあいトーク—学生が主役のまちづくり—

要約版

日時 平成24年10月13日 15:00～16:30

場所 川崎医療福祉大学10階大会議室

市長

こんにちは。今日は土曜日、学校がお休みにもかわらず、多くの学生の皆さんにご参加いただき大変ありがとうございます。市民ふれあいトークは、私が市長になりました4年半前、地域の公民館に行って地域の事についてお話をさせていただいて、お話を聞いたりするというのをしてきました。そこで若い学生さんが参加していただくことが少ない状況があり、今日の参加者の方は、これまでの市民ふれあいトークの中で、平均年齢が一番若い参加者の人ばかりであると思いますし、今日は私から、学生さんたちとお話をしたり発表してもらいたいなど、無理を川崎学園さんの方にお願ひし、大学の先生の方から無理やり参加するようと言われた方もいらっしゃるかもしれませんが、少なくとも興味を持って参加していただいて、有り難いと思っております。4時半までの1時間ちょっと間、最初は私からお話をさせていただいて、発表をお願いをしている方に少しお話をいただいて、後フリートークという形でやっていければいいかなと思っております。この会でお話させていただいたことを、これからの倉敷市のまちづくりに、若い方がどう思っているのか、学生さんがどう思っているのか、そういうことを反映していければいいなと思っておりますので、よろしくお願いします。今日、川崎学園さんの方に伺いまして、日頃から川崎誠治理事長先生をはじめ、皆さんに大変お世話になっているんですけど、当学園の創設者であります川崎祐宣先生は倉敷市の名誉市民であり、岡山県の名誉県民でもあります。とても偉い方で素晴らしい方でいらっちゃって、この松島の地にこの学校を創設していただいて、今皆さんが住んでいらっしゃる方も多いと思いますけれど、松島・中庄地区は学園のまちとして、非常に倉敷市の中で有名になっているわけです。この倉敷市の中には、川崎学園の3つの大学をはじめとして、大学が今全部で10校あります。非常に岡山県の中でも大学が多い所でして、この川崎学園、それから近い所では有城の所にあります原田学園さんの岡山学院大学、岡山短期大学、玉島にあります作陽大学、作陽音楽短期大学、そして山の方にありますけれど、連島の所にあります倉敷芸術科学大学、そして私どもの倉敷市立短期大学、児島にあります。玉島にも一つ中国職業能力開発大学校というのがあります。実はもう一つ、倉敷市の芸文館の所に岡山大学の資源植物科学研究所というのがあります。非常に大学・研究機関が多い所でもあります。その中で川崎学園、松島の地は倉敷市内の医療のメッカとして、倉敷市内でも、そして全国的にも有名な地になっております。大学病院が大変有名なことは勿論、テレビでも良く出ますがドクターヘリ、又西日本だけでなく全国でも有数の救命救急医療センター。学生の皆さんが倉敷市の色々な事業に参加してくださったり、倉敷市の保健所とか学校教育の分野でも、研修生や実習生として参加をしてくださったりということで、倉敷市ともずいぶん繋がりの強い所だと思っております。

倉敷市の概要について少しお話をしてみたいと思います。人口は大体48万人。岡山県内では岡山市が70万人で、倉敷市が48万人で2番目の市ですけど、中国地

方ではもう一つ多いのは広島市が120万人、3番目に大きな市になっております。その次が福山市47万8千人、倉敷市と同じぐらいの人口です。ご存知のように交通の結節点でもあり、瀬戸大橋も架かっていますし、地区によっては農業も盛んですし、玉島の桃や葡萄、児島ではジーンズ、今日私も児島で行事があって、ジーンズの生地を着て来たんですけど、児島ではジーンズストリートというのが最近有名です。水島には水島コンビナートがあり、倉敷地区には美観地区、大原美術館があり、この松島の地には川崎学園があるということで、多様なのが特色だと思います。皆さんが主に生活していращやるのは、この学校の近くの所ではないかと思うのですが、自分が倉敷市の色んな所へ行ってみたりとか、岡山県内で色々行ってみたりして、この「学生が主役のまちづくり」というテーマで発表していただければ有難いと思っています。参考に、倉敷市出身の方はどのくらいいращやるのでしょうか。2割ぐらいですね。岡山県外の出身の方はどのくらいいращやいますか。45パーセントぐらいですね。ということは3割ぐらいが岡山県内の倉敷市以外の方ということですね。

今、倉敷市の概要の方を言いましたけれど、皆さんの発表をお伺いしながら、その後の意見交換に繋げていければと思います。

参加者 A さん

川崎医科大学6年です。僕たちがしている活動について、発表させていただきたいと思います。僕たち川崎医科大学では、ぬいぐるみ病院というものを行っています。活動は子ども、特に小学校低学年の子どもたちや、小学校入学前の幼稚園の子どもたちに、医療とはどういうものかとか、医療に使う道具の説明とかをするんです。主なものとしては、子どもたちにぬいぐるみを使って、ぬいぐるみを自分の友達という設定で、友達が病気になったということで、僕らが医者役だったり看護師の役だったりして診察をするという流れで、聴診器をあてたり、体温を測ったりする。子どもたちにも、実際に聴診器はどういうことをしているか、というのを聞いたり実際に使ってもらったりして。日頃病院とかに行っても、子どもというのは、どうしてこれをしているのか判らないので恐怖感があるので、そういうことを教えることによって少しでも恐怖感を無くせればということで、行っています。僕らは12月中旬ぐらいに真庭市で川崎医科大学のOBの先生のおついでで、今度活動させていただくんですけど、倉敷の方でも、活動自体がまだ2年ぐらいなので、市内の幼稚園でも何度かコンタクトをとったことがあるんですけど、うまく行かなくて。まだ倉敷市内の幼稚園では行ったことがないんです。そういう新しい活動をするにあたって市役所とかでコンタクトを取りやすいような窓口があると助かるかな、というのが最後に言いたいことです。

市長

今までに2回やっているんですか？年に何回ぐらいやっているんですか。

参加者 A さん

年に大きい活動は1回か2回ですけど、他に準備とかもありますし、日頃は別のつてなんですけど小学校の放課後とかで、子どもたちと一緒に遊んだりとかはしている

んですけど、医療行為を教えたりというのはなかなかできていないのが現状です。

市長

大変良い活動をしていただいていると思うんですが、何人でやっているんですか。

参加者 A さん

今だと 20 人ぐらいだと思います。

市長

医科大学の学生さんでそういうグループみたいなのがあって、活動を始めようということですね。確か私も新聞で一回見たことがあるような気がするんですけど、別の大学とも共同したりしているんですか。

参加者 A さん

はい、岡山大学さんと。

市長

是非、倉敷市内の幼稚園でやっていただきたいと思いますので。幼稚園と保育園とでは幼稚園の方がいいですか。

参加者 A さん

どちらでもよいです。

市長

私が必ずやってもらえるように教育委員会に頼みますので、よろしくお願いします。来年ですね。今年はもう真庭ですのですね。「ぬいぐるみ病院クラブ」の人に、是非やってもらいたいと思います。

例えば、他の話になるのですが、作陽大学は子どもさんに対して音楽を、地域の子どもたちに楽器のことを教えてあげたいといって、市内の学校に何校か来てくれたりして、音楽の授業で来てもらったりとか、ということもやっています。

大学の連携の一環として来てもらったりできるのではないかと思いますので、是非お願いしたいと思いますので、後輩の方にも引継ぎをよろしくお願いします。

今言っていたいて、すごくいいことだと思うんですけど、子どもの頃に何故、聴診器を当てられているのかとか、熱を測られているのかとか、不安だと泣いたりするということがありますよね。それというのは、私も思うのですが、小さい頃に自分が色々経験ができて、それが何なのかというのを大人の方がわかりやすく教えてくれると、子どもたちはより成長すると思います、教育とかの観点でも。すごく良い活動をしていただいていると思いますし、倉敷市の大きな医科大学でいらっしゃるの、是非子ども達にも教えていただいたり、これから社会に出て病院にも出られると思うので、そういう経験をしていただいたら実際の患者さんにも、子どもさんとかもいらっしゃると思うし、丁寧に対応していただけると思うので、良い活動だと思いました。

参加者 B さん

先ほどの話を聞いて、こんなことしてたんだと改めて川崎学園のされていることとか勉強になりました。私は倉敷市で生まれて育って、スポーツも小さい頃からしながら教育にもすごく興味を持って、来年の春からは教育の方に関われる仕事に就くことが決まっています。その先もずっと岡山県に残っていきたいと考えています。

今回のテーマを聞いて、私は教育関連のボランティア活動について学生が主役になれるのではないかなと考えました。その中で高校生を対象にオープンキャンパスをしたりして、大学案内をしている様子を私自身も経験してきましたし、すごく知っていたのですが、キッズオープンキャンパスを行って、うちの大学ではスポーツも頑張っている方々もたくさんいますし、医療に関係する仕事をされている方もたくさんいるので、学生が子どもにスポーツの楽しさを教えたり、医療のことを教えていくことができるのは歳が近い大学生としては関わりやすいし、子どもたちにとってもプラスになるのではないかなと思いました。

また、子どもだけでなく、高齢者の方にも生涯スポーツを提供する良い機会になるのではないかなと思いました。スポーツは小さい子どもも高齢者の方にもすごく関わりを持てることだと思うので、教育と医療を活かせるうちの大学ならではの関わりができるのではないかと考えました。

それから就職活動を考える時に、友達や先輩たちとも話していて良く出る話題なのですが、いつ就職して、いつ結婚して、いつ子どもができて、何人位で。じゃあ早く結婚したいねとか話をするのですが、働く女性の現状とか、大学院を出ているからこそ、ずっと仕事に就きたいという思いを持つ女の人が増えていると思うのですが、現状やサポートのことなどは、学生の私たちはあんまり詳しくないという事に気付いたので、教えていただきたいと思います。

また、倉敷市は、男女共同参画宣言をしているとホームページを見させていただいたんですけど、男性の育休はどうなっているのかなと、疑問に思いました。以上です。

市長

最初に教育に関するボランティアのことについて言っていただいて、後半部分で働く女性のこと、男性の育休のことを言っていただいたと思います。就職先は倉敷市内ですか。

参加者 B さん

岡山県です。ゆくゆくは倉敷市に戻って来たいと考えています。

市長

最初に言っていただいたボランティア活動のことですけど、さっき A さんが言うてくださった事も通じる面があると思います。自分が習っている学校での活動を何か活かしてみたいということで、子どもたちに教えてみたいとか、学校の課外活動だった

り、授業の一環としても市民の方に色々なことを教えて下さるということも一緒に連携してやってくださってるんですが、倉敷市としてもこの川崎学園の医療と福祉が繋がった素晴らしい学生さんたちがまちに出て行くというか、倉敷市の中で色々な活動をしていただけるということに、大変期待を持っています。在籍の学生さんも約6千人位いらっしゃるって伺ってまして、医学だったり医療福祉だったりの分野で活動されていらっしゃるわけですので、その方たちが授業や実習で市内の機関に行くこともあると思います。福祉施設に行かれたりすることもあると思うし、オープンキャンパスとかで子どもさんが来た時に教えてくれたり、自分が何かを、学校とか地域とかで教えてみたいという活動もあると思うので、そういうことを色々やっていただけることを倉敷市はとても望んでるんです。これまで、倉敷市と各学校との関係というのがあんまり少なかったところもあって、今回もお願いしたことあるんですけど、倉敷市内にある10の大学が、学生さんたちは当然、合計すれば1万人ぐらいの方がいらっしゃるの、その方たちが何かの観点で地域とかに関わってくだされば、今日もそうですけれども、若い方がいらっしゃるだけで元気が出ますので。特に地域のおじいちゃんとかおばあちゃんとか、小さい子どもさんとかが、皆さんが接してくだされば倉敷市の元気がすごく上がっていくんじゃないかと思っているのです。今やっていたいているボランティア活動とか、是非続けていただきたいですし、先ほどお話もありましたけれど、何かやってみたいと思う時に、市の方に直接言われたら、以前はなかなか部署がどこか判らなかったのではないかと思います。学園との間で考えたいと思うんですけど、今学校と倉敷市との間で大学連携の推進会議というのをやっています。川崎学園さんの大学連携の推進の方に、市と一緒に何かやりたいというのがあったら、そこを通じて市に言ってもらって、うまく行くかどうかというのができたらいいなと、思いました。

働く女性の環境ですが、以前よりも随分環境は変わってきています。倉敷市は今言っていたように、男女共同参画宣言をしている都市ですけども、市のアンケートの中で「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に賛成する人の割合というのを、20年前と今で比べているのがあります。20年前はこの考え方に賛成する人の割合が36.2%だったのですが、今は9.3%です。男性だけの割合をとってみると、20年前は男性は今の考え方がいいという人は49.7%、50%いたんですけど、今は14.1%になっていまして、非常にパーセントも変わってきていますし、皆さんの考え方も大きく変わってきていると思います。まだまだ倉敷市の男性の育児休暇取得者も少ないですけど、います。これまでにとった男性は6人しかいないですけど、数年前までは0人だったんですよ。そこから6人になっただけでも、少しは進歩してはいるのですけれど。女性の管理職の比率も今20%位に、段々増えてきていますので、周りの環境が働きやすいような環境になってくれば、男性も女性も働きやすくなっていけると思いますし、市も頑張りたいと思っています。

参加者Cさん

川崎短大看護科です。本日は日ごろ思っていることについて、発表する機会を与え

ていただき、ありがとうございます。私は北海道出身で、父の仕事の都合で、各地転々としているのですが、今は倉敷に住んで7年経っていて、今後地域に貢献できる医療者として倉敷市に貢献していきたいと考えています。

私は安心安全な地域づくりに、私たちができることについて、スピーチさせていただきたいと思います。今倉敷市に住んでいて、中庄・松島地区は、小中学校だけではなくて高等学校や大学もあり、一人暮らしをしている学生や駅から徒歩や自転車を使って学校に通学している学生が多い地域なのですが、一方で変質者が頻繁に出たり、自転車の盗難が多かったりと、市内でも有数の危険地域だとお聞きしました。そのため、警察が日中パトロールをし、見回りをしている姿を何回も見たことがあります。防犯対策について、それだけでいいのかなという疑問も持っています。今、私が問題として考えていることが3つあります。

まず、夜道が暗いところがあるので、照明をもっと増やしていただければ助かるなと思っています。旧2号線は交通量も多く夜道も明るいのですが、私が通っている短期大学の裏の道は日中も人通りが少なく夜になると街灯も少なく真っ暗で、その道を通らなければならない人や、私も中学の時にその道を使っていたのですが、部活動などで夜遅くなり一人で帰るときに、怖かった思いがあったので、周辺に住んでいる方たちに、安心して通っていただけるように、街灯を少し増やしていただきたいなと思っています。

次に、不審者がよく出ると言ったのですが、不審者対策として小中学生だけでなく、大学生にも防犯意識を強めていくことが必要だと考えています。例えば、定期的に防犯講座を開いたり、地域の犯罪発生などの情報[開示・共有](#)をしたり、制服の名札については、学外にでるときは必ず外して出るという指導を徹底していくことが大事だと思います。私は、各地を転々とし、小学校時代は京都府と長野県で暮らしていましたが、どちらの学校も学内に入るときに名札をつけて、学外に出るときは名札を外すという決まりがあったのですが、これは名札に書かれている名前や学校名がわかり、不審者に誘拐されることを防ぐためと教わっていました。私は中学の時にこちらに引っ越してきたのですが、小学生の弟が名札を下げたまま登下校をしていると知った時に、少し危ないなと思いました。確かに倉敷市は制服がすごく有名なので、小学校の頃から制服を着用して、倉敷の伝統を大切にしているのはすばらしいと思ったのですが、子どもの安全面を守る点から、少し改善すべき点と思いました。小学生だけでなく、私たち短大生も病棟実習に行く時に、寮にいる学生はナース服を着て、病棟実習に行かせていただくのですが、名札をつけたまま病棟実習に行ったときに、不審者に名前を見られて、寮に見知らぬ人から電話がかかってきたというケースもあると聞いています。そういうことを防ぐために、市でそういう啓発をしていくことも大事だと思いますが、私たち学生も防犯に対する意識をもっと強めていく必要があると感じました。

最後に一番大切だと思いますが、安心安全な地域づくりのために、地域と大学との連携が活かせたらよいと思っています。私たちの大学では学友会という学生組織が中心となって、地域清掃のボランティア活動や震災後の募金などの活動などもしてきたのですが、これらの活動をもっと広げていって、地域の方達との連携を強めていけたら、いざというときに助け合いができる関係を築けたらいいと思います。実際は授業

や実習に追われていて、もっとやりたいのにできないのが、私たち短大の現状ですが、私たち学生にも活動ができる場を広げて、多くしてくれたら地域の方たちともいっばい連携ができるので、窓口とか組織があればいいと考えています。

市長

ありがとうございました。防犯などの面、安全安心の面から、すごくまとめて発表していただいて。転勤とかで全国を移動されているということで、色々なものをみられての観点からの発表だったと思います。今、安全安心ということは大切だと倉敷市も思っています。道が暗いとおっしゃられていましたが、市としても、暗い道の街灯とかは付けていきたいと思っていますが、付ける時は、地域の皆さんと相談して街灯を市で付ける場合と、町内会で付ける時に市で補助金を出して付ける場合と何種類があります。ある程度の基準があって、学校のすぐ近くで地域の方が使われないので、そうした声があがっていないのかと思ったのですが、付け方の基準もあるのですが、どこの道だけにどうするということは今はわかりませんが、安全安心は非常に重要なことだと市としても思っています。不審者のことについては、大学生も短大生も、高校生も小学生も中学生もみんな一緒だと思います。不審者が出るとか怪しい人が出るというときに、例えば、小学生とかだと、学校へPTAから、どこどこで変な人・不審者のような人がいたということを連絡して、学校から地域のPTAが登録している親御さんに不審者情報のメールがいくようなシステムを今、導入しているところがあります。中庄小学校や庄小学校がしているかすぐにはわかりませんが、それが大学生に配信できるかわかりませんが、そういう仕組みもあります。

私が今、発表を聞いていて大事だと思ったことがあります。学友会の話をしてくれたのですが、これだけの学生さんがいらっしゃって、地域みなさん、広くは倉敷市の人たちも、もっと川崎学園のことを知りたいと思っていますし、学生みなさんも日ごろから何か一緒にお付き合いがあれば、何かあったときに頼りになるし、不審者が出た時にも、学生寮にも声をかけてくれたりという関係にもなっていくのではと思ったのです。学友会の活動はどのくらい活発なのですか。大学ごと（短大・医療福祉大学・医科大学）にあるのですか。みんな入っているわけでもないのですね。色々な面で色々な形で、地域の人と関わる機会を持つことに興味を持ってくれる人が増えてほしいと思います。それを実行に移すようになってくれば、より学校と地域、学生と地域の連携が深まって、それが町の安全につながるのではと思っています。例えば、警察のこととも言われましたが、市も警察署と以前より意思疎通が図れているので、ここで不審者が出たといったら、市のほうからも頼みやすく、集中的にパトロールしてくださいとか、住民の人たちに啓発してくださいとか言いやすくなります。東北にも学友会でして下さったといわれていましたが、自分が今できることで地域のことや社会に役に立てることがあるかなと思って、日ごろの活動をしていただきたいという希望を持っています。

皆さんが倉敷市に対してどう思っているか、今3人が発表してくれたことについて自分がどう思うか、倉敷の町について学生の皆さんがどんな印象を持っているか、この辺りは良い、この辺りはもっと良くしたら、と思うところを教えてもらいたいと思います。自分の出身地と倉敷を比較していただいたり、倉敷のここが好きだからもっと

こうしたらとか、そういうことがあれば挙手して発表してください。

参加者 D さん

私は川崎医療福祉大学・医療秘書学科の者です。私も倉敷で生まれ育ち 21 年経ちました。倉敷で住んでいること、倉敷に生まれたことに誇りを持っています。倉敷といえば美観地区や瀬戸大橋があります。色々有名なものがあって、県外からの友達にも紹介したことがあります。しかし、おすすめスポットを教えられないのが、今の悩みです。最近、京都の友達ができ、倉敷でどこか遊びに行こうと誘われても、思い当たるところがないです。約 1 年前に、アリオや三井アウトレット倉敷ができましたが、私の感想としては、あまり好きではありません。正直申し上げて、いまいちパツとしないと思っています。私もアウトレットが好きなので、できる前は大阪などに行っていました。三井アウトレットができてからも、大阪のりんくうのほうが好きなので、りんくうに行っています。この先ずっと倉敷で過ごしたいので、遊びに行く場所がほしいと思っています。私の周りでは、遊んだり、デートしたりというイオン倉敷が多いです。アリオができてイオン倉敷のほうが支持率は高いので、ここにいる皆さんがどうかはわかりませんが、倉敷で遊ぶ場所を作ってほしいです。市長さんに言うのはどうかと思いましたが、私の個人的な意見です。よろしくお願いします。

市長

遊びに行く場所とか魅力的な場所についてのお話でした。イオンはできて 10 数年経っていて人気もありますし、アリオは新しいお客さんのほうが結構行かれています。アウトレットにいく人もほとんど県外、車のナンバーの 8 割が県外からで、広島・鳥取・島根・山口・四国の東半分・意外と神戸からも来られています。新しいので興味を持って、来られている人も多いのですが、これから増床とかお店のチェンジとかもあると思うので。せっかく作ってもらったので、是非魅力を持ってもらえるように、三井アウトレット・アリオに頑張ってもらえるように伝えたいと思います。ところで、アリオとアウトレットの真ん中に、芝生の公園があります。芝生の公園を作ったところは、三井アウトレット、アリオ、倉敷市のどこだと思いますか？（約半分が倉敷市に挙手）半分の方は知っているのですね。公園の真ん中に川が流れていますが、あの川は倉敷用水という農業用水の川です。イオンのある酒津から、倉敷市は市内に用水がたくさん流れています。酒津から市内各地に流れていて、川の 1 つがみらい公園の真ん中に流れている倉敷の用水で、川の周りを市が芝生に整備し、公園にして、子どもが遊んだりできるようにしています。かなり好評をいただいています。市として町の景観の中で大型商業施設だけでなく、緑と潤いのある街になったらいいなと思って公園を作りました。

魅力のある町にしてみたいということについてです。最近ジーンズストリートに行かれましたか。倉敷地区でいえば、「林源十郎商店」が最近できました。大原美術館から歩いて 2 ～ 3 分のところに、倉敷の昔の町並みの 3 階建ての木造住宅を改装して、すごく大きなお店ができています。昔の雰囲気が残っていて、県外からの観光客の方が大勢きています。その 3 階から見る倉敷の白壁の町並みは絶景ポイントです

ので、お友達が来たら紹介してください。

児島のジーンズストリートにいったことがありますか。今、倉敷市で最近よくテレビにでている児島地区に、ジーンズストリートがあります。倉敷市の児島地区は昔から繊維の盛んな町です。学生服や作業服を作っていました。今はジーンズを作っているのが有名になっています。芸能人の着ているジーンズもかなり児島のものが多いです。1本3～5万円のものもあれば、数千円のものもあって、みんなこだわりのジーンズになっています。ジーンズストリートが1・2年前にできまして、20軒くらいのこだわりのジーンズのお店が集まってきています。ここを散策するという県外からの視察も増えています。そこと、瀬戸大橋や鷲羽山とかは眺めもよいので、観光として足をのばすことをおすすめします。もっと、魅力のある町になるように頑張りたいと思います。

参加者Eさん

川崎医科大学○年の者です。今日は面白いお話をありがとうございます。魅力がある町も大事だと思うのですが、僕は住みやすい町にしてほしいと思います。横浜出身なので、岡山に来て驚いたのは、車に乗っている人がすごく多いことです。通勤も車だし、夕方5～6時になれば、学校の前の道も渋滞し、住んでいる側からすれば、車がなければ住みにくいので不便かなと思います。アリオなどができて、県外からも多く来られるようになり、ますます混雑し、道路が狭いと思います。日曜日の旧2号線も渋滞がひどいし、平日の朝も、岡山までの道も混雑するし、魅力がある場所を作るのはよいが、それにより多くの人が集まり、道路が渋滞するのは嫌だなと思います。旧2号線の新幹線高架下は1車線から2車線になり、快適になったと思います。道路を作ってくださいというのは土地の関係もあるので難しいと思いますが、道路など交通機関を改善して、住みやすい町にしてもらえたらうれしいです。

市長

道が狭い、道路が混雑するという切実な話でした。横浜は公共交通機関が発達しているので、通勤などは電車を利用される人が多いですね。

道のことはまちづくりのことに関わってきます。倉敷市の町の中で、車に乗る人はわかると思うのですが、2号線バイパスで玉島方面に行くと、以前2車線だったところが4車線になり、高梁川の辺りまでは早く行き来できるようになりました。あの道は国道ですが、市も国にお願いして、まず大きな道路を混まないようにしていきたいと思っています。旧2号線については、言われたように道幅を広げることは難しいですが、市の町の中の一番大きな問題点、町の中に近づけば混雑する原因は何かというと、真ん中に山陽本線が東西に通っていて、それを渡る踏み切りなどが少ない、それで中心部が混んで、かつ南北にぬけることが難しいので、そのために路線が集中するのが町の中心部の一番の問題だと思っています。1つには私の公約でもありますが、山陽本線の倉敷駅（付近）の鉄道高架をすることを進めたいと思っています。それと合わせて、環状の道をもっと流れやすくするというを考えています。すぐできるようなことではないですが、市内の渋滞はかなりありますし、岡山に向かう妹尾の辺りも混みますし、まちづくりの中できると早く進めていくよう頑張りたいと思います。

す。

参加者 F さん

倉敷市長さんは女性ということで、学生祭とかにも来て下さった奥様が「元気のある街でしょ」とか言って。本当に、初めて市長さんとお会いして、「確かにこんな市長さんだったら、元気になるよな」と思いました。

それで、私は倉敷駅の近くに住んでいるんですけど、さっきの人が仰ったように、自分の家の前が大改造されて、すごい大きな道路になって。自分の家からは一方通行で出ないといけないみたいな感じになっちゃったんですけど。

で、渋滞がすごいなというのがあるんですけど、それよりも倉敷駅の駅ビルが今ちょっとどうなっているのか分かんないんです。

広島県はわりと大きな都市ですから、駅のビルの中には、ちょっと本屋さんとかあったりするんですけど、何か、倉敷は本屋さん自体が少なくはないと思うんですけど、でも品揃えがいまいちというか、マンガなんかはいっぱいあるんですけど、ちょっと本物の本を探したいなと思ったら、ちょっと遠くまで行かないといけなかったりとか、そういうのがあったりとかするんで。

だからそれが、ちょっと広島と比べると、すごく人口的にも全然違うので、申し訳ないと思うんですけど、できたら倉敷の駅ビルのところの、倉敷駅のすぐ近くに、そこそこ大きめで、ある程度の本が揃うっていうのが嬉しいなと。学生の一応多い街だったら本屋さんは、それなりの需要があるんじゃないか。まあ、医学書をそこまで置いてとは言わないんですけど。

参加者 F さん

医学書は、学校の中にある書店さんが岡山の方の本社から届けて下さってるんです。

市長

はい、ありがとうございます。倉敷の駅ビルのことについて言って頂きまして、倉敷の駅、わりと使う人、どうでしょうか？月に何度か（挙手求める）。はい、ありがとうございます。

倉敷駅はですね、今から約2年前ぐらい、駅ビルの上の部分のホテルが、今閉鎖をしています。それは何故かという、駅ビルはできたころは非常に最先端だったんですけど、かなり年数がたってきて、それで改修を抜本的に全部するのと、それと、さっき私が言いましたけれど、倉敷駅を鉄道高架したときには（鉄道を上に上げるという「高架」なんですけど）、駅ビルも全部やり替えをしないといけないので、高架をするときにビルのやり替えをしましょうというような感じを、JRと。あのビルはJRさんのビルなんです。ですので、そういう風に考えていただいていると思います。だから、高架がこれから進むようにしていこうと思ってるんですけど、その時に一緒にやり替えをして。そうするとそれなりのビル、プラス通常で言えば何かお店が入るんじゃないかと思います。

今駅の近くですと、アリオさんの中の方に、奥の方ですけど、ちょっと大きな本屋さんが入ってらっしゃいますけど、駅ビルが開いている頃には、確か宮脇書店が入っ

ていまして、割と人気があったと思うんですけど。また駅ビルがやり替えになってお店が入る時にはですね、本屋さんというのは十分大きな候補になると思いますし、また後、市民の方からそういう要望が来てるということも伝えて行きたいと思います。私も本屋さんはあった方がよかったなと思いますし、やっぱりちょっと待つときに、みんな本屋さんに行ったりすると思うので。いいアイデアをいただきましてありがとうございます。ちなみに倉敷の駅ビルは、閉まってからどうなっているのかと心配してくださる方が多いんですけども、今、実は中の内装の取り外し作業をしていまして、今度、来年ぐらいから、外の建物、市のメイン駅なので、あんまりガラガラと壊すわけにも行かないものですので、幕を段々して、上からそろそろという感じで。ガラガラじゃなくて、そろそろという感じで。なるべくイメージが壊れないように。でも、1・2・3階建のところまで、一回全部、上を取るようになります。そうするともちろん、駅が上に上がるまでの間は、ちょっと時間はあるんですけども、今閉まって、こう壁みたいになってるよりも、見通しも良くなりますし、南北の行き来ももっと出来たらいいなという感じになっていって、少しオープンな感じになるかなと思いますので、なるべく早くJRの方にはお願いしたいと思っております。

はい、どうもありがとうございました。今、倉敷の街のことで、いい事とか、もうちょっとこうした方がいいんじゃないかなと言っていたいた訳ですけど、ちょっと防災のことにについて、皆さんに少しお伺いをしてみたいと思います。川崎学園さんと倉敷市とではですね、防災の協定を結んでいます。川崎学園さん、また、倉敷芸術科学大学さん、また作陽大学さんと、非常に大きな敷地を持っていちゃいますので、いざ災害のときに地域住民の人が、一時的に避難をして来れるようにということで、学園の方と、協定を結んでいます。災害が起こってないのが何よりですけど。防災のことを聞いてみたいんです。自分の家、職場に、何かあったときに防災のために役立つようなものを備えている人、手を上げていただけませんか？数名ですね。ありがとうございます。ちなみに何を置いているか、言ってもらってもいいですか？

参加者 G さん

消火器と防災グッズ。というのが、銀色のカバンに全部入っているものです。

市長

素晴らしい。ありがとうございます。後ろの方は？

参加者 H さん

そこの中庄に一人暮らしです。ちゃんとしたもんじゃないんですけど、懐中電灯と、とっさの時にすぐ役立つものを備えてあります。

市長

ありがとうございます。じゃあ、斜め後ろの女性の方、どうでしょうか？

参加者 I さん

私も一人暮らしですけど、手で回してつく懐中電灯を置いています。

市長

今、手を上げていただいたように、防災に関する日頃からの意識を、持っている人が少ないんですよ。全般的にそうだと思います。特に全国的な傾向と、この倉敷市の傾向もあって。倉敷市はもともと災害が少ない。瀬戸内地域は災害が少ないと言われてますので、あんまり準備とかなくても大丈夫じゃないか、と準備してない人が多いというのが一つありますし、それから何かあったときには、土地も広いから大丈夫だろうと思ってる人も、結構いるんじゃないかと思ってるんですけど。全国的には、若い方と、この瀬戸内海とかの災害の少ないところの人が準備をしてない傾向にあると伺っています。神戸の災害も瀬戸内海地方だったけれども突然起こりましたし、いつ災害が起こるか、分からないと思います。

家の方に、この8月末から9月ぐらいにかけて、市の広報紙、配達、ポストに入っているのは、見たことある人、倉敷市広報紙は？あんまり見たことない、ポストに入っていないのかな。市の広報紙、こんなものですが。これが倉敷市の広報なのですが。これでも見たことある人少ないかな？もういっぺん、見たことあるような気がする人？さっきよりちょっと増えました。ありがとうございます。ちなみに9月号に、これ（防災マップ）が入っていたなあと、広げてみた記憶がある人？3%ぐらいしかいない。はい、分かりました。これは何かというと、さっき配られた広報紙の中に、9月号の時には必ず自分の住んでる地域のところに入っていて、倉敷市の防災マップで、このあたりの地域の分です。それで、もしも大洪水が起こった時にどうなるかということとか、それから一番大事なことは、家にあったらぜひ見てもらいたいですけど、標高が書いてあります。標高というのはここの公民館、避難所になっている公民館は海拔が3.5mとか、15mだとかいうのが書いてあります。それをなぜ書いたかということ、去年の大地震が起こって、三連動地震が起こって倉敷に津波が押し寄せるとい話が、瀬戸内海地方ですね、どこでも津波が来るんですけど、高知とかよりは低いんですけど、倉敷市内で大体、最大で4mぐらいの津波が来ます。それで特に、児島とか玉島とか水島の沿岸の方は、自分の住んでるところがどのくらいなのか、自分が避難所だと思っているところがどれくらいの高さなのかを知ってもらうために、倉敷市内のほとんどの避難場所のところに、海拔を書いています。

この地域は海から離れてますので、海からの浸水ということはないんですけど、川崎医療福祉大学グラウンドがすぐ近くです。海拔3.2mです。そんなことは普通はないと思いますが、色が塗ってあります、割と濃い色とか薄い色とか塗ってあります。これは、もしも、高梁川が決壊した場合、最近で言えば九州の北部豪雨とか、この近くで言えば、7～8年前に豊岡市でもものすごい雨が降って、堤防が切れたりして街が全部浸かっちゃったり、ということがありました。

そのくらいの大豪雨が起きたときに、高梁川がどこかしら切れることは今のところないですけど、最近のゲリラ豪雨とかもあるので、絶対ないということはないと思います。もしも最悪のケースで何箇所か堤防が、高梁川も大きな川ですので何箇所か、もしかして切れた場合にはどうなるか。水が来る可能性のある所が、この色が塗ってある所です。もちろんこれが、何mにもわたって浸水するということは、普通はありません。ただ、水が来るかもしれない地域だということで、色を塗っていますので、

日頃からですね、街中といえども、グラウンドは大丈夫ですけど、松島の交番とかです、街の中は、大災害とか洪水が起こって、堤防が何箇所も何箇所も切れるようなことになったら、倉敷市内のどこでも、これは倉敷市だけじゃないんですけど、岡山県内でも広島でもそうだとおもいますが、大きな川が切れると浸水をするというのは、災害の時には、ある可能性がないとは言えませんので、日頃から、先ほど避難グッズを持って下さってる方もいらっしゃいましたけど、自分の近くは、どこが標高が高いのかということ、よく調べておいた方がいいと思います。もちろん大学の中で避難見学とか、庶務の先生とか総務の先生から聞いたりもされると思いますし、当大学であれば、標高の高い土地かつ高い建物もたくさんありますので、大学にいらっしゃる時は大学の上の方の階に逃げるのが一番安全だと思いますが、いざ平地の方にいるときに、もし浸水ということになったら、日頃から近いところの標高・海拔が高いところを調べておいてもらえるとありがたいなと思います。防災のことでお話をいたしました。

あともう一点。せっかく医療の大学でいらっしゃるの、医療福祉のことについて、最後ちょっと少し、皆さんにお伺いをしてみたいと思います。既にそうですけど、日本国は非常に高齢化社会になってゆくと思います。そうすると、皆さんのお仕事というのはますます、該当する方の人数も増えていくと思いますし、皆さんのお仕事の範囲も広がってゆくんじゃないかと思います。皆さんのお仕事は非常に大切だと思っているわけですけど、そうですね、まあ質問といいますが、最後にあと何人かに、可能でしたら自分がなぜ今の大学を選んだのかとか、今なぜ、今就職が決まっている人だったら、「こういうことに役に立つために、頑張りたいな」と思っている、未来への、近い未来かもしれないけど、夢といいますが、今なぜ、この勉強をしたいと思っているのか、少し発表していただけるとありがたいなと思うんですが、なかなか手が上がらないかもしれないので、聞いてもいいですか。

参加者 J さん

自分がまず、なぜこの大学に来させていただいたのかですが、自分は医学部に受験して入ったわけですけど、残念ながら大学を選べるほど勉強が出来ませんで、ここだけが自分を採っていただけましたので、ありがたくここへ来させていただいております。

自分の将来の夢、どこで働きたいか、ですが、自分は熊本県、九州の熊本出身ですが、そこも本当に今、医療過疎というか、医療従事者が全然足りてなくて。ですからこちらを卒業したら、地元の医療に貢献したいと思っておりまして。熊本も、自分の将来志している医師ですが、どの産婦人科も小児科も、普通の当たり前の科も足りてなくて。先日熊本の大学病院に少し見学に行きましたら、すぐにでも来てくれと言われてまして。そこで、自分が専門を何科にするかは、これからの大学の病院実習を経て考えたいと思うんですが、一日でも早く、地元の医療に貢献したいと思っております。

市長

ありがとうございます。大変立派な夢って言うか、熊本の方に貢献するっていうのは、特に今お医者さんが全国で足りていない状況だと思いますので、がんばってい

ただきたいと思います。倉敷のことも思い出してくだされば、ありがたいと思います。

参加者 K さん

私が看護師になりたいと思ったきっかけは、高校 2 年の担任の先生が妊娠されたことがきっかけで、妊娠の経過から出産まで一緒に過ごすことが出来て、そのとき助産師の話も聞かせていただいて、それで助産師になりたいと思い、看護学科に進学しました。

今では、いろんな実習をさせていただいて、入院されている患者さんが日々回復されていく姿を見て、コミュニケーションが出来ない患者さんでも毎日話しかけることで、瞬きとかそういうのも、私の話がちゃんと通じているんだな、伝わっているなというのを実感することが、喜びを感じる事が出来て、就職試験も受けて合格発表待ちなんですけど、来年からはそういう実習で感じたことも大切にしながら、看護師としてしっかり働いていきたいと思っています。

市長

ありがとうございます。本当に医療関係のお仕事、看護師さんになられる予定ということで。助産師さんも検討しているのかな？後々はね。さっきの方も言われましたけど、産科医療は危機に瀕していると聞いていまして。産婦人科も非常に先生が少ないし、また、助産師の方も以前のようには人数がいないので非常に困っている。でも、お医者さんがいなくても助産院、助産師の方が、院内助産で子どもさんを取り上げていらっしゃる場所も、かなりいらっしゃいますので、そういう面も非常に重要なところだと思いますので、ぜひがんばっていただきたいと思います。

参加者 L さん

僕は、臨床工学科という学科でして、病院で扱う機械の操作を管理する技術職なんですけど、僕がこの大学を選んだのは、祖父母に育てられて、その祖母が心臓を悪くしていたので、何らかの形で恩返しをしたいなと思って。そんなに学力もないので、医学部にいけるわけもなく、それでちょっと何が出来るかと調べた結果、この臨床工学科というのがあって。それで、技術もいるんですけど、透析って分かりますか？あれはまあ、直接患者さんと関わるんですけど、もともと口下手だったりというのもあったんで、技術職に就こうかなと思ってたんですよ。病院実習に行った際に、透析で患者さんと接したときに、患者さんに感謝されることがあって、それにやりがいを感じたんで、将来的には患者さんと関われる透析をやろうかなと思ってます。

市長

よく分かりました。ありがとうございます。ぜんぜん口下手じゃないです。ありがとうございます。いま、三人の方に発表してもらったんですけど、本当に皆さんのお仕事は、何らかのきっかけがあって、思いがあって、医療関係のお仕事に進みたい、それが倉敷の人のためじゃなくて、故郷だったり、将来自分が仕事をする場所によって違うんですけども、人の命に関わるお仕事だと思います。もちろん、子どもさんに関するお仕事をする方もいらっしゃるわけですし、その子どもさんの一生を決める

仕事だと思います。幼稚園とか保育園の先生達もみんな言いますけれども、小さいときに、どういう先生と接したかということが、子どもの将来を決める。もちろんお父さん、お母さんもそうですし、先生と一緒にいる時間が長いとその影響がすごい。私自身もそうでした。すごく影響を受けますので、その子どもにとって一生に関わってくることで、一人ひとりに一生懸命向き合おうと思いましたと、言っています。お医者さんも看護師さんも臨床工学の先生もそうですし。直接だったり、もしくは間接だったり。患者さんがいろんな状態の方がいらっしゃると思いますけど、皆さんが頑張って、自分の思いを患者さんに少しでも伝えていただければ、患者さんがちょっとしたことで元気になったり、やる気をもってね、これからがんばってこういうことのきっかけが、きっと皆さんの仕事の中での大きな糧になるんじゃないかと思います。私も分野は違いますが、皆さんがいろいろ倉敷市に対する意見を言ってもらったり、お店がちょっとつまらないとか、道が混んでるとか行ってみて下さって、これはまだまだ改良しないといけないなとか、関心を持ってくれてるってことなんで、嬉しいなと思います。これをそれぞれ十人十色、百人百様の出し方があると思いますが、みなさんのこれからの中で、自分が思う道をがんばっていただきたいと思いますし、県外に卒業したら帰られる方もいらっしゃると思いますが、倉敷のことを思い出してもらったりとか、卒業式でよく言うんですけど、倉敷市にいる間に、本当に、すごいいいところがたくさんありますので、行ってみて下さい。この松島の街もいいところです。倉敷市、岡山県内、すごく自然も景観も食べ物も、何でも豊かなところですので、行ってみてもらって、自分の地元とかに帰ったときに、また来てみたいなあとか、友達に、いい街だったなあと言ってもらえば、ありがたいと思います。

時間になりましたので、最後に一つお願いを。二十歳以上の方で倉敷市内に住民票がある方は、10月28日には、岡山県知事選挙というのがあります。国民の義務ですので、ぜひ投票に行ってください。投票所へ行って見て下さい。まだ、投票されたことがない方もいるかもしれませんが。直近では私の選挙に投票にきて下さった方もいるかもしれないんですが、大変ありがたく思いますが、実はですね、この地区に住んでおられる方は、松島の公民館という所で投票される方が多いと思うんですけど、何と倉敷市内で、いつもほとんどが最低の投票率です。学生さんで投票に関心の少ない方もいらっしゃるし、クラブ活動とかで忙しいと思うんですけど、倉敷市の市民の一員ですし、岡山県民の一員だと思いますので、関心を持って、投票権がある方は選挙に行ってくださいと思います。ありがとうございました。